



写真で見る第11回学会大会

日本災害情報学会は、第11回学会大会（研究発表会、総会など・実行委員長：小山真人静岡大学教育学部教授）を10月24日、25日の日程で、静岡大学と静岡県地震防災センターで開催した。大会では58件の研究発表が行われ、188名が参加して活発な議論が展開された。また、大会初日には、大会記念講演として「懸念される巨大地震と予知の現状」（阿部勝征会長）を開催し、一般にも公開した。

10月24日（土）	受付開始	8時45分～	
	研究発表会	9時30分～12時00分	静岡大学教育学部G棟 A会場 B会場
	昼休み	12時00分～13時30分	
	理事会	11時30分～12時30分	静岡大学 大学会館内
	記念講演	13時30分～15時00分	静岡大学 大学会館ホール
	研究発表会	15時30分～17時30分	静岡大学教育学部G棟 A会場 B会場
	懇親会	18時00分～20時00分	
10月25日（日）	受付開始	9時00分～	
	研究発表会	9時30分～11時45分	静岡県地震防災センター A会場 B会場
	昼休み	11時45分～13時00分	
	総会	13時00分～13時40分	同 A会場
	廣井賞授賞式・講演	13時50分～15時20分	同 A会場
	研究発表会	15時30分～17時00分	同 A会場 B会場



全国各地から 188 名が静岡に！

写真で見る学会大会2009



研究発表会 10月24日 [静岡大学教育学部:A, B2会場で開催]



研究発表会 10月25日 [静岡県地震防災センター:A. B2会場で開催]



廣井賞授賞式・記念講演【静岡県地震防災センター】

日本災害情報学会は 2006 年、初代会長の故廣井脩氏（元東京大学大学院教授）の志を後世に伝えるため廣井賞を創設し、3 回目の授与式を 10 月 25 日、学会大会席上で行った。

今年荣誉に輝いたのは下記の社会的功績分野 2 件及び学術的功績分野 1 名。

分野	受賞者	表彰理由
社会的功績	「ビジュアル版 幸せ運ぼう制作 委員会」 神戸市・神戸市 教育委員会・神 戸大学・読売新 聞大阪本社・読 売テレビ放送	「ビジュアル版幸せ運ぼう制作委員会」が阪神・淡路大震災の報道映像や記事をもとに制作した防災教材は、震災を知らない今の子どもたちにはもちろん、後々に語り継ぎ、震災体験を風化させないためにも、大変役立つものと期待される。これは行政と大学、それに報道機関とが力を合わせるによって初めて実現したものである。さらに、成果の教材を全国の教育現場に無償で配布するなど、普及活動にまで発展させている継続した活動は、災害情報分野で顕著な功績をあげていると認められる。
	「マスメディアと 研究者のための 地震災害に関 する懇話会」	中京圏の報道関係者、研究者、防災行政担当者らが災害時の適切な情報発信を目指して結集した、「マスメディアと研究者のための地震災害に関する懇話会(Network for Saving Lives)」は、定期的な勉強会を通じて互いの信頼関係を築き、災害情報全般に対するよりよい理解と円滑なコミュニケーションづくりを進めてきた。そして、そこで培われた組織を超えた協力関係は、先進的な防災情報共有プラットフォームの実現につながるなど、災害情報分野で顕著な功績をあげていると認められる。
学術的功績	静岡 大学 防災 総合センター 准教授 牛山素 行氏	牛山素行氏は、災害情報を用いた風水害の被害軽減に関する実証的研究に、これまで一貫して取り組まれている。そして、現実的課題として、情報システムが整備されていてもそれだけでは活用が進まず効果があがらないこと、地域のハザードマップや防災ワークショップなどによるリスク認知にも難しさがあること、またソフト対策による犠牲者軽減効果の客観的検証など、災害情報分野の学術研究において顕著な功績をあげていると認められる。





「ビジュアル版幸せ運ぼう制作委員会」(桜井誠一氏)



「マスメディアと研究者のための地震災害に関する懇話会」(福和伸夫氏)



牛山素行氏(静岡大学)



大会記念講演【静岡大学学生会館ホール】



懇親会【静岡大学生協第1食堂】



総会



名誉会員顕彰【静岡県地震防災センター】



PHOTO by FUKUNAGA , FUKUSHIMA , HADA , HIROI , NAKAJIMA and KURODA